

患者安全 TeamSim コース (for Nurses)

ICLS (ACLS) コースの発展学習としても

午前：急変させない患者観察テクニック (Step1)

午後：心停止させない患者観察と蘇生 (Step2)



患者安全 TeamSim コースの学習目標

病院・部署における患者安全を担保するために必要な以下の看護実践能力を獲得します。

1. 入院患者を訪室する前に患者の病状を認識し予測する。
2. 訪室する前に変化への対応をリハーサルする。
3. 訪室したらパッと見判断、全体観察、初期評価を行い判断に応じた行動（以下）を選択する。
4. 病状に変化がなければ予定された看護を行う（プラン緑）。
5. 病状に変化の懸念があれば詳細な評価を行う（プラン黄色）。
6. 病状に変化があれば呼吸・循環の安定化など変化への対応を行う（プラン赤）。
7. 一連の看護実践のプロセスを検証する。
8. 看護実践能力の振り返りを行う。

【受講資格】 ICLS コースまたは ACLS コースを受講済み（過去4年以内）の看護師（看護教員）

【事前学習資料】 コースガイドブック（事前に購入して、お読みください。）

[看護学生・若手看護師のための 急変させない患者観察テクニック：小さな変化を見逃さない！できる看護師のみかた・考え方](#) (羊土社)

（その他事前学習資料を PDF ファイルにて配布致します。資料の名称は変更になる場合がございます。）

- 「看護実践能力を自己診断する」
- 「急変させない患者観察テクニック・ガイダンス」
- 「心停止させない患者観察と蘇生・ガイダンス」
- 「患者安全 TeamSim コース・ワークブック」

★ コースのスケジュール ★

午前：急変させない患者観察テクニックのレッスン	午後：心停止させない患者観察テクニックのレッスン
1. オリエンテーション 2. 患者安全を担保する看護実践スクリプトを確認する 3. プラン緑のデモンストレーション 4. プラン黄色のデモンストレーション 5. シナリオ演習 6. テスト 7. 振り返り	8. オリエンテーション 9. プラン黄色のデモンストレーション 10. プラン赤のデモンストレーション 11. シナリオ演習 12. テスト 13. 振り返り

- 机上シミュレーションとフィジカルシミュレーションの組み合わせがよかった。
- 考え方の筋道をまとめた ID 式・知識カードを使いながら練習することで考えることに自信がついてきた。
- 患者のところに行く前のリハーサルが重要な事を確認できた。
- 看護学生や新人看護師に自分の考えを声に出して伝えることで、パッと見判断→全体観察→初期評価のリハーサルの仕方を指導できると思いました。

【募集人数】 12 名

【受講費】 JSISH 会員 14,000 円、非会員 22,000 円

日本医療教授システム学会 入会(看護師 年間 7000 円)はホームページからお願いします。

(<http://www.asas.or.jp/jsish/>)

【お申し込み】 「JSISH サイト (<http://jsish.jp/eduwp/>) 」 又は 「CATS 患者安全トレーニングプログラム」よりアクセス下さい

